

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 5年次生 森田 早貴

1. はじめに

2016年11月12日(土)から同年11月17日(木)までの期間、本学国際交流助成事業の助成を受け、アメリカルイジアナ州、ニューオリンズにある New Orleans Ernest N. Morial Convention Center(写真1)で開催された AHA Scientific Sessions 2016 に参加し、自身の研究成果について発表したため、報告させていただきます。



写真1 : New Orleans Ernest N. Morial Convention Center

2. AHA Scientific Sessions 2016 について

AHA(American Heart Association) Scientific Session は、基礎的・先端のおよび臨床的な心血管学術集会です。今年は、ルイジアナ州ニューオリンズで、平成 28 年 11 月 12 日(土)から 11 月 16 日(水)までの 5 日間開催されました。

主要なホテルから学会の会場までは、学会期間中のみ 7 つのルートでシャトルバスが運行されており、また町中に AHA のポスターが掲示してあり、学会の規模の大きさに圧倒されました。

会場では毎日 Daily News という新聞が発行され、それを読むことで前日の学会内容がわかるように工夫されていました。



写真2 : 学会会場前にて

3. ポスター発表

今回は、11月15日(火)に行われたポスターセッションに参加しました。Abstractは学会専用のアプリに登録されており、自身のポスターと音声での発表もアプリ内に登録され、会場でのポスター横に掲示してあるQRコードを読み取ることで発表をオンラインで見ることができるシステムが採用されていました。そのため、今回のポスターセッションでは、13:30から14:45までポスターの前に待機し、適宜質疑応答・発表を行うというスタイルでした。今回私が発表した演題と近い研究をされている方など、7名ほどの先生方と意見交換をすることができ、非常に有意義な時間となりました。質疑応答の際はうまく自分の言葉で表現することができず、悔しい思いをする場面もありました。

ポスター発表までは時間があつたため、他の先生方のポスターも見て回りましたが、ただポスターの前で見に来てくださるのを待つだけでなく、自分から「何か質問はありませんか、説明させてください」と積極的に見て回っている方に声をかけることでチャンスを広げていくことができると気づきました。

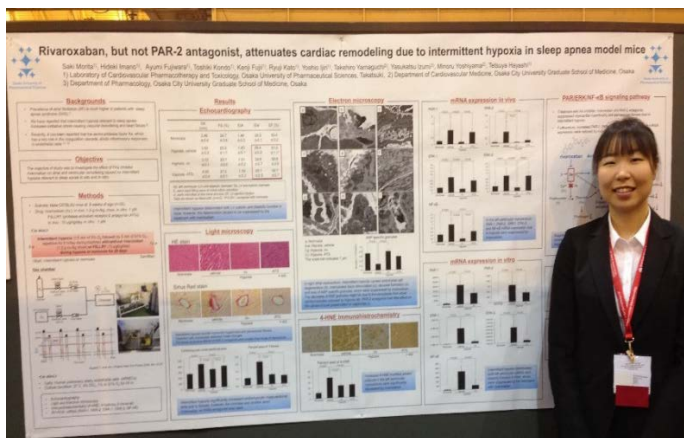


写真3：発表ポスターと筆者

4. ニューオリンズ滞在、薬局見学

学会期間中はニューオリンズ中心部にあるフレンチクォーターに滞在しました。ニューオリンズは、フランス統治が行われていた背景もあり、街並みにもその面影がありました。夕方から夜にかけて町全体がジャズであふれかえっており、夕食の際に私たちが日本人だと気づいたバンドの方が「上を向いて歩こう」(アメリカではSUKIYAKIと呼ばれているそうですが…)を演奏してくださったのが印象に残っています。

また、滞在していたホテルの近辺に薬局博物館があり、見学を行っているとのことだったので、見学に行きました。昔の薬局の様子や医薬品を展示していましたが、通常の鎮痛剤などのほか、香水、化粧品、毒薬や、ブドゥー教で使用されていた薬が展示されていました。注射器等も陳列されていましたが、形が現在のものと同じ形をしていました。



写真4：野外でのジャズ演奏



写真5：薬局博物館内部の様子

5. おわりに

今回は国際交流基金助成事業の助成により、American Heart Association Scientific Sessions 2016においてポスター発表を行い、非常に貴重な体験をさせていただきました。海外に行った経験が少なかったため、学会期間中は学会会場のみでなく、街中でも異なる文化を感じることができました。また、今回の学会を通して研究内容に新たな課題を見つけることができ、他の研究者の発表を聞くことで刺激を受け、さらに研究を頑張ろうという気持ちになりました。

本学会へ参加することを快諾して下さった循環病態治療学研究室 林哲也教授をはじめ、ご支援頂いた多くの方々に感謝の意を表して、事業報告とさせていただきます。今回このような機会を設けて頂き感謝申し上げます。